

2015年10月1日

北海道庁の省エネ窓改修にAGCの「アトッチ®」が全面採用 ～北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞も受賞～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）の省エネ窓改修用Low-Eガラス「アトッチ®」が、北海道庁本庁舎耐震改修窓断熱化工事において、全面採用されました。施工面積はおよそ1,800㎡となる予定です。「アトッチ」は、従来窓改修が難しかったビルなどの大規模建築物向けに開発したもので、年間通じて省エネ性の向上と快適な空間づくりに貢献する製品です。また、その省エネ性能が評価され、北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞の省エネルギー部門において大賞を受賞しました。

延床面積が2,000㎡を越える大規模建築物について、平成25年省エネ基準への適合の義務化が閣議決定されるなど省エネルギー推進の流れのなか、既築の建築物についても、改修によって省エネ性能の向上を図る動きが進んでいます。

北海道庁本庁舎の省エネ性能向上においても、窓の改修が検討され、2013年9月より「アトッチ」を一部の部屋に試験施工しその省エネ性の実証試験を行っていました。

その結果、空調エネルギーの削減が確認されたことに加え、①室内側からの施工のため、足場の設置が不要で通常の窓改修と比較し施工期間や費用を抑えることができる点、②1窓当たりの施工時間が短く、休日に施工するため、平日の業務に支障をきたさない点、③夏の暑さや冬の寒さを和らげ、不快な結露も抑えるため、庁舎を訪れる方や仕事をされている方が快適に過ごすことができる点、④既存ガラスに貼りつける工法のため廃棄物が出ない点、などが評価され、庁舎全体に採用されるに至りました。

また、「アトッチ」は夏の遮熱機能だけではなく冬の断熱機能も持ち、年間37.5%の空調エネルギーを削減する点（北海道の気象条件における試算*）が高く評価され、北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞の省エネルギー部門において、大賞を受賞しています。



施工前



施工後

アトッチを施工した北海道庁本庁舎の部屋（外観はほとんど変わりません）

AGCは、今後も省エネや快適性向上に貢献する製品の提供を通じて、経営方針AGC plusの下、世の中に「安心・安全・快適」をプラスしていきます。

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 小林 純一

(担当：高橋、宮川 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)

◎商品に関するお問い合わせ先：ガラスカンパニー カスタマーセンター

(ナビダイヤルTEL 0570-001-555)

※試算の算出条件

単板ガラス (6^{mm}) からアトッチ (単板ガラス6^{mm}+アトッチ5^{mm} 【Low-Eガラス/クリア色】) へ改修した場合
建物幅：15m/奥行：15m/階数：6F/基準階床面積：225m²/主方位：南/基準階高：3.6m/ガラス面積：432m²

●地域条件：北海道札幌市

●空調使用条件：(冷房)5月～8月、(暖房)9月～4月 (使用前提) 平日6:00～22:00

<ご参考>

1. 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞

「北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例」に基づき、平成14年度より始まった、省エネルギー機器や新エネルギー利用設備の導入や普及啓発活動等における優れた成果を表彰する制度。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene2/sokusintaisyo-bosyu.htm>

2. アトッチ[®]とは

① 販売開始時期： 2012年10月

② 製品特長：

●夏の暑さ対策だけでなく冬の寒さ対策も実現。

・年間を通じて高い省エネ効果を発揮。

・不快な結露も防止[※]

●施工コスト削減

・室内側からの施工のため、足場の設置が不要

・短い施工時間 (1窓あたり30分～1時間)

・既存のガラスを使用するため、既存ガラスの廃棄が不要

●メンテナンスコスト削減

・遮熱フィルムと異なり定期的な貼り替えが不要

※結露が発生しないことを保証するものではありません。



ATTOCH[®]

製品の詳細はこちら：<http://www.asahiglassplaza.net/gp-pro/attoch/>

以上